

#### 4 交際相手からの被害経験

##### (1) 10歳代から20歳代での交際相手の有無

10歳代から20歳代の結婚前に、「交際相手があった(いる)」という人は53.7%である(図4-1-1)。

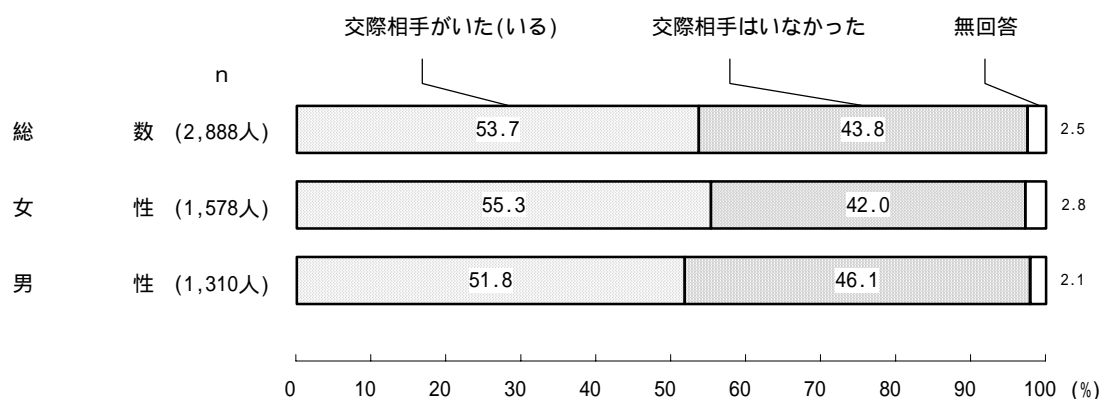
男女別にみて、大きな差はみられない(図4-1-1)。

【すべての方にお聞きします。】

問14 あなたの10歳代から20歳代の経験についてお聞きします。結婚している方、結婚したことのある方については、結婚前についてお答えください。

あなたには、その当時、交際相手がありましたか。あてはまる番号1つにをつけてください。結婚している方、結婚したことのある方については、後に配偶者となった相手以外についてお答えください。( は1つ)

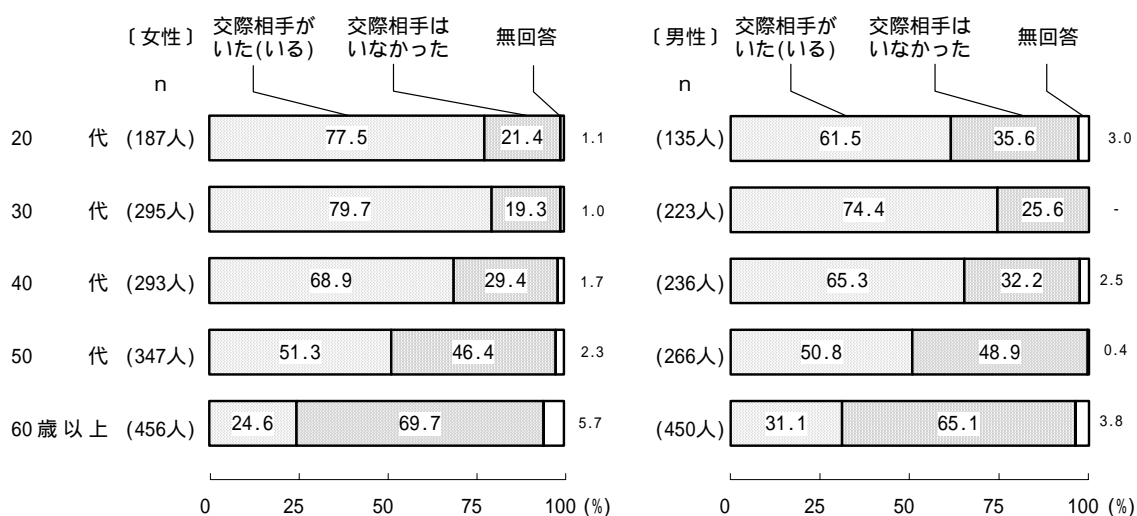
図4-1-1 10歳代から20歳代での交際相手の有無



性・年齢別にみると(図4-1-2) 男女とも若年層ほど「交際相手がいた(いる)」という人が多くなる傾向があるが、男性の20代では「交際相手がいなかった」という人が35.6%と、男性の40代(32.2%)とほぼ同率になっている。女性の20代から30代では、「交際相手がいた(いる)」(20代77.5%、30代79.7%)という人が8割程度となっている。

一方、男女とも60歳以上になると、「交際相手がいなかった」(女性69.7%、男性65.1%)という人が6割を上回って多数を占めている。

図4-1-2 10歳代から20歳代での交際相手の有無(性・年齢別)



## (2) 10歳代から20歳代のときの交際相手からの被害経験

10歳代から20歳代の結婚前に、交際相手がいた(いる)人(1,550人)に、当時の被害経験について聞いた(図4-2-1)。

“なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた”ことが「10歳代にあった」人は2.6%で、「20歳代にあった」という人は4.1%である。

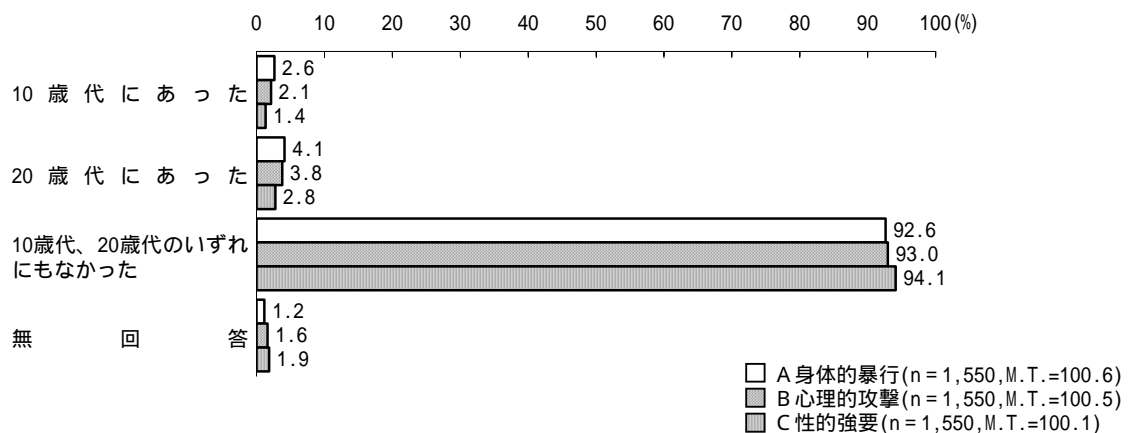
“人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた”ことが「10歳代にあった」人は2.1%で、「20歳代にあった」という人は3.8%である。

さらに、これまでに“いやがっているのに性的な行為を強要された”ことが「10歳代にあった」人は1.4%で、「20歳代にあった」人は2.8%となっている。

【問14で「1 交際相手がいた(いる)」と答えた方にお聞きします。】

問15 あなたは、10歳代、20歳代に、交際相手から次のようなことをされたことがありますか。AからCのそれぞれについて、あてはまる番号にすべてをつけてください。(はいいくつでも)

図4-2-1 10歳代から20歳代のときの交際相手からの被害経験

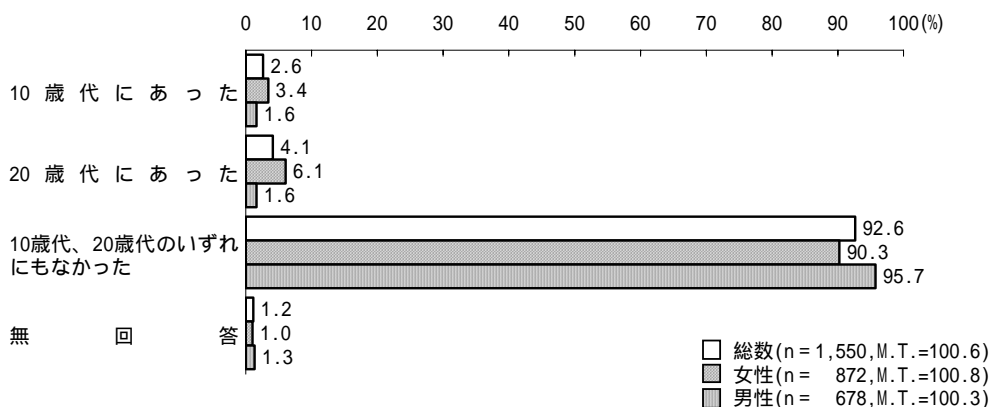


- A なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた  
 B 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた  
 C いやがっているのに性的な行為を強要された

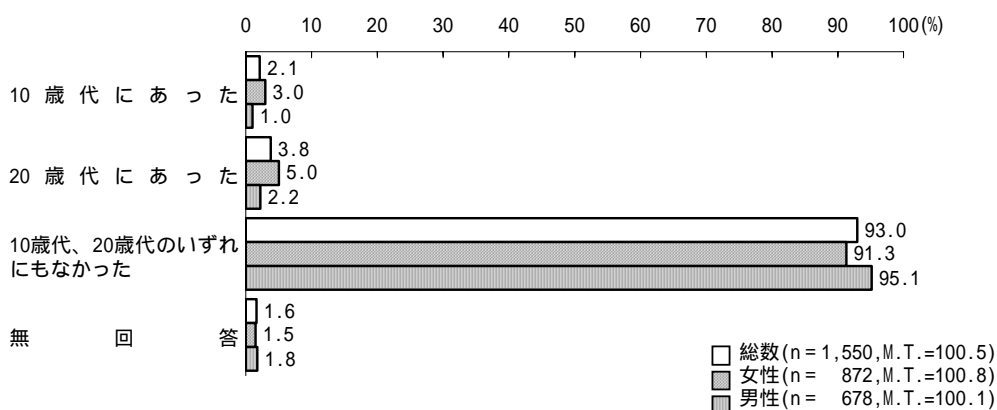
男女別にみると（図4 - 2 - 2）、いずれの行為についても男性より女性の方が被害経験のある人がやや多くなっているが、大きな差はみられない。

図4 - 2 - 2 10歳代から20歳代のときの交際相手からの被害経験（男女別）

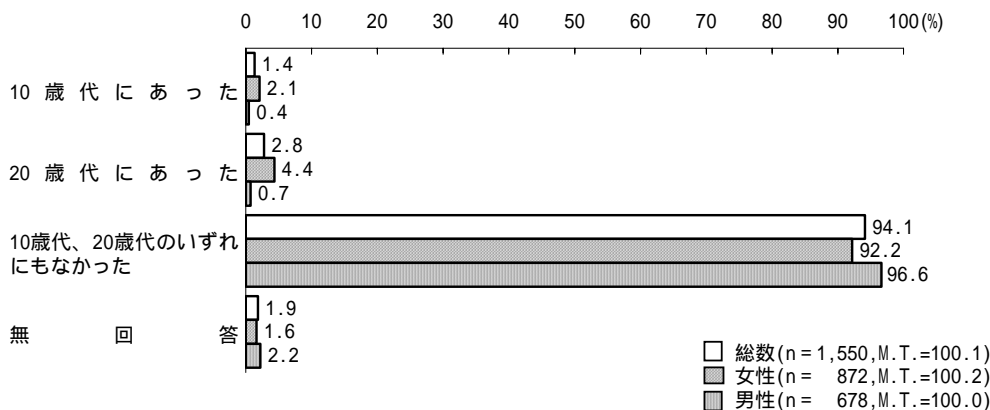
A 身体に対する暴行を受けた



B 精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた



C 性的な行為を強要された



性・年齢別にみると(図4-2-3)“身体に対する暴行を受けた”経験は、女性の20代で「10歳代にあった」(9.0%)という人が、30代で「20歳代にあった」(10.6%)という人が、それぞれ1割前後とやや多くなっている。

“精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた”ことが、「10歳代にあった」という人は女性の20代(7.6%)で、「20歳代にあった」という人は女性の20代(7.6%)から30代(7.7%)で、それぞれ1割弱となっている。

“性的な行為を強要された”ことについても、「10歳代にあった」という人が女性の20代(6.2%)で、「20歳代にあった」という人は女性の30代(7.2%)で、それぞれやや多くなっている。

図4-2-3 10歳代から20歳代のときの交際相手からの被害経験(性・年齢別)

A 身体に対する暴行を受けた

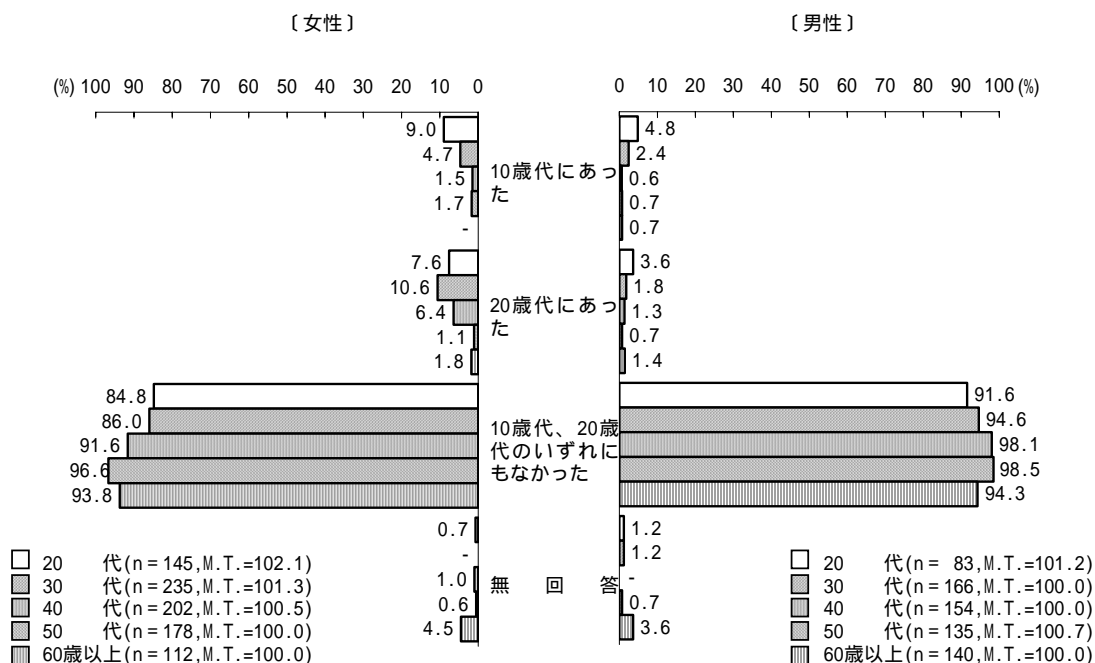
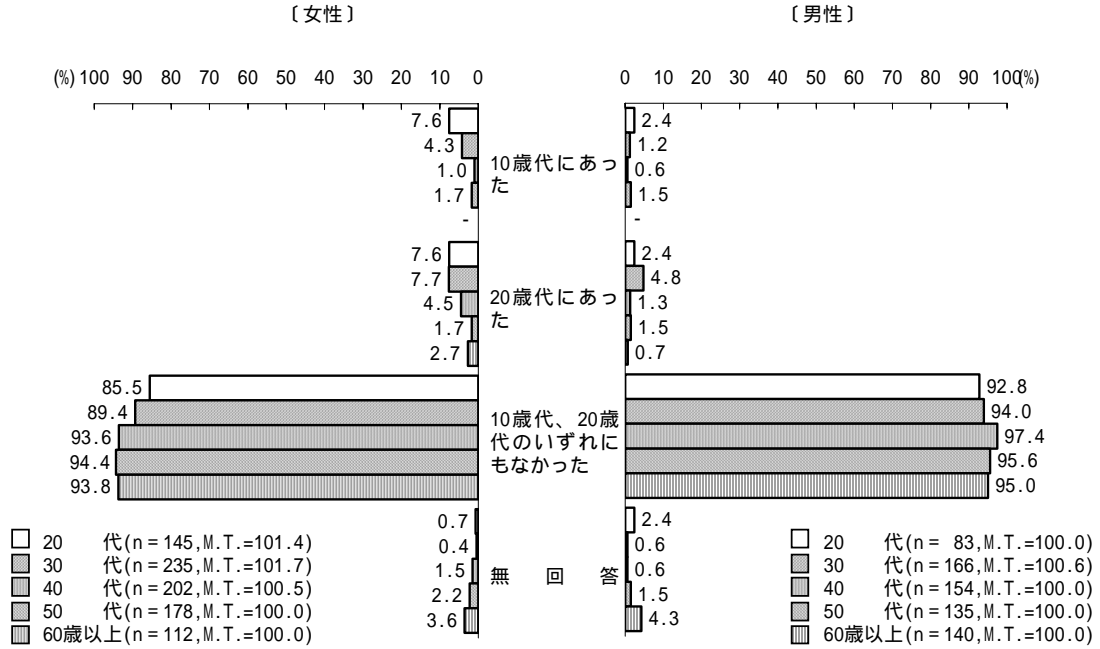
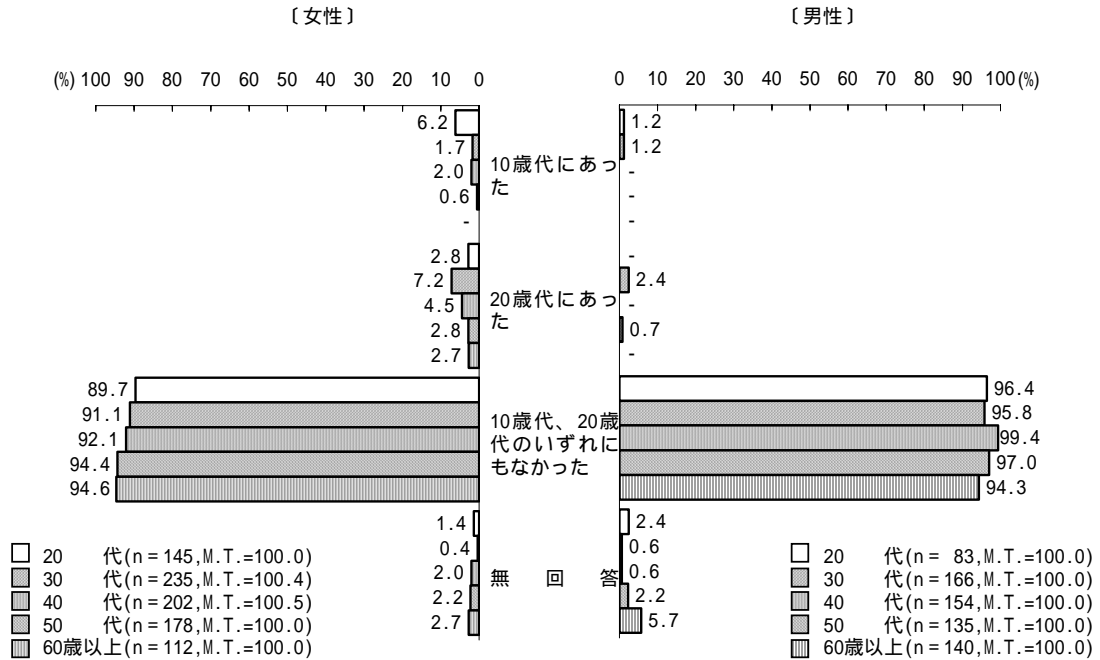


図4-2-3・つづき

B 精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた

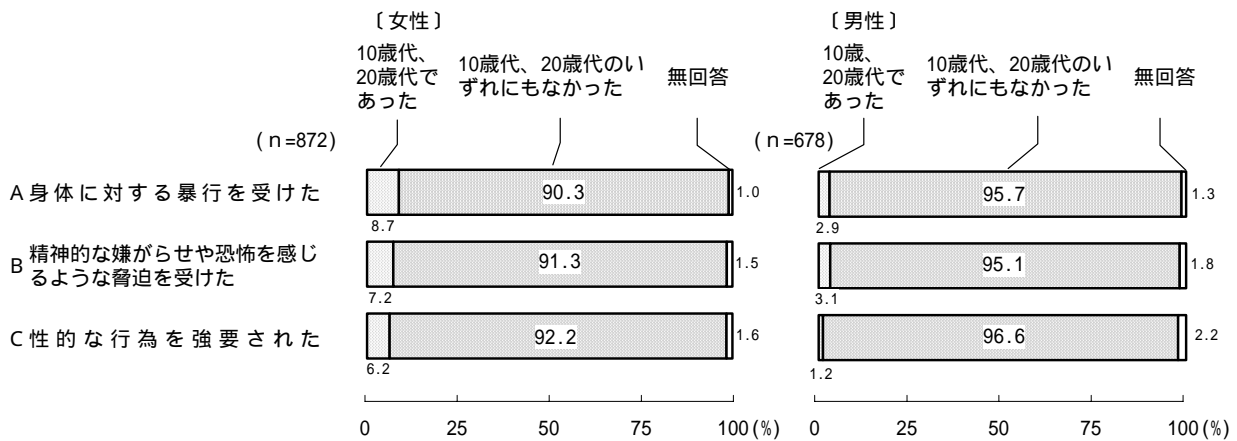


C 性的な行為を強要された



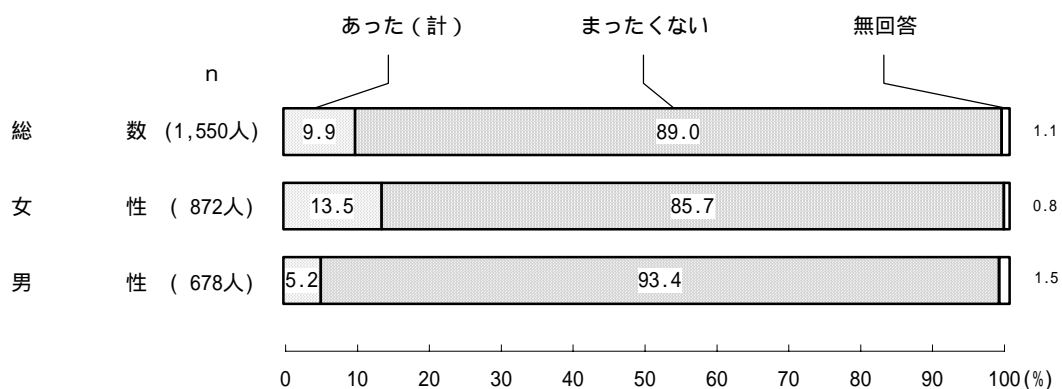
10歳代から20歳代のときの交際相手からの被害経験の有無をみると(図4-2-4)“身体に対する暴行を受けた”ことが、10歳代、20歳代であった人は女性8.7%、男性2.9%、“精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた”は女性7.2%、男性3.1%、“性的な行為を強要された”は女性6.2%、男性1.2%で、いずれも女性に多くなっている。

図4-2-4 10歳代から20歳代のときの交際相手からの被害経験(男女別)



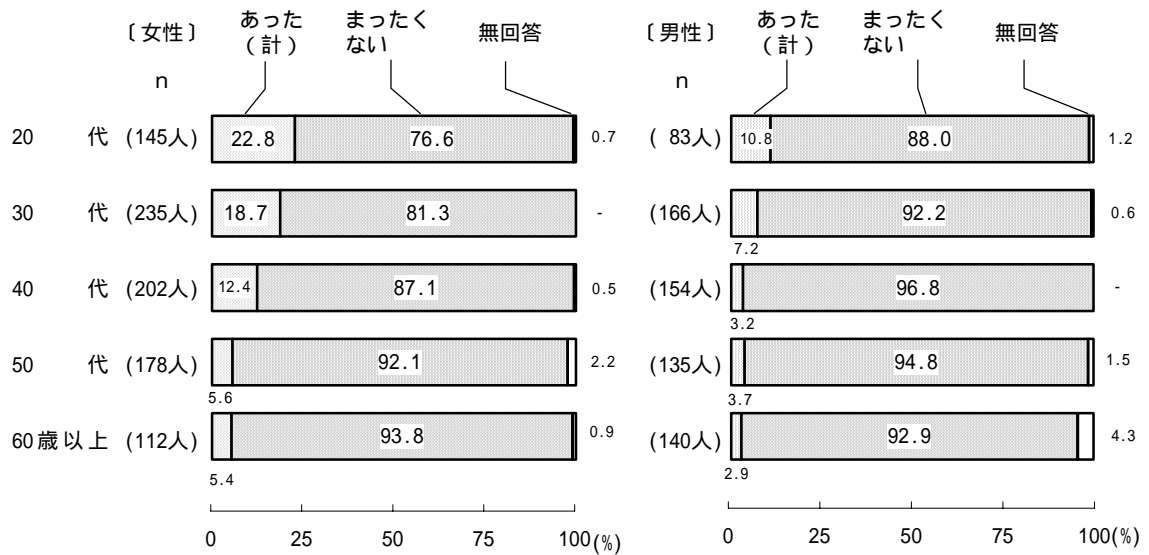
10歳代から20歳代のときの交際相手からの被害経験の有無をまとめてみると(図4-2-5)当時の交際相手から“身体的暴行”“心理的攻撃”“性的強要”のいずれかをされたことが「あった」(9.9%)という人は1割で、女性(13.5%)が男性(5.2%)を8ポイント上回っている。

図4-2-5 10歳代から20歳代のときの交際相手からの被害経験-まとめ(男女別)



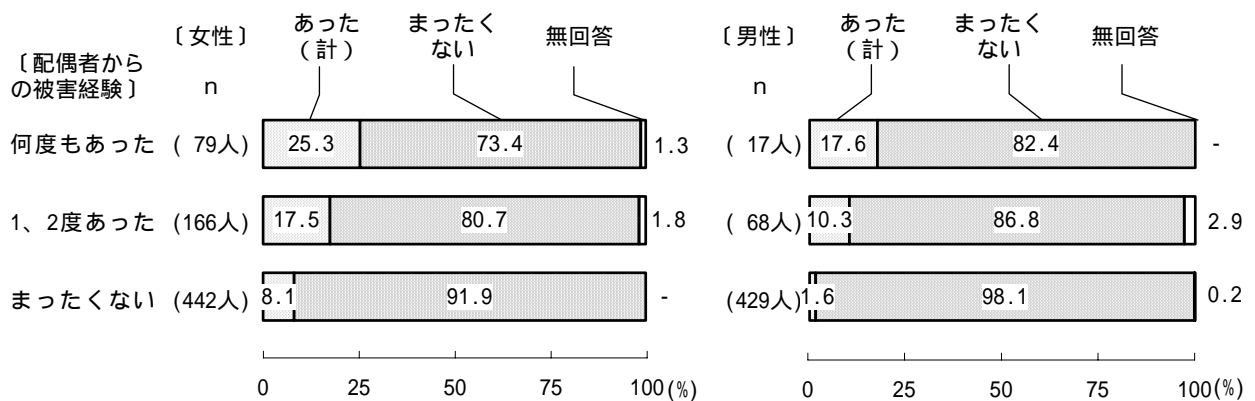
さらに、性・年齢別に被害経験の有無をみると（図4-2-6）男女とも若年齢層ほど被害経験のある人が多い傾向があるが、特に女性の20代（22.8%）から30代（18.7%）では2割前後が『あった』と答えている。

図4-2-6 10歳代から20歳代のときの交際相手からの被害経験 - まとめ（性・年齢別）



10歳代から20歳代のときの交際相手からの被害経験の有無を、「性・配偶者からの被害経験別（まとめ）」にみると（図4-2-7）女性では、配偶者からの被害（身体的暴行・心理的攻撃・性的強要）を1つでも受けたことが『何度もあった』という人で、4人に1人が過去に交際相手からの被害経験が『あった』と答えている。また、配偶者からの被害経験が「まったくない」という女性でも、約1割が過去に交際相手からの被害経験が『あった』と答えている。

図4-2-7 10歳代から20歳代のときの交際相手からの被害経験 - まとめ（性・配偶者からの被害経験別）





### (3) 交際相手から被害を受けた後の関係

10歳代から20歳代の結婚前に、交際相手から被害を受けたことがある人(153人)に、その行為を受けたとき、相手との関係をどうしたのかを聞いたところ(図4-3-1)、「相手と別れた」人(49.7%)が半数を占めている。

「別れたい(別れよう)と思ったが、別れなかった」(28.1%)という人は3割弱、「別れたい(別れよう)とは思わなかった」(20.3%)という人が2割となっている。

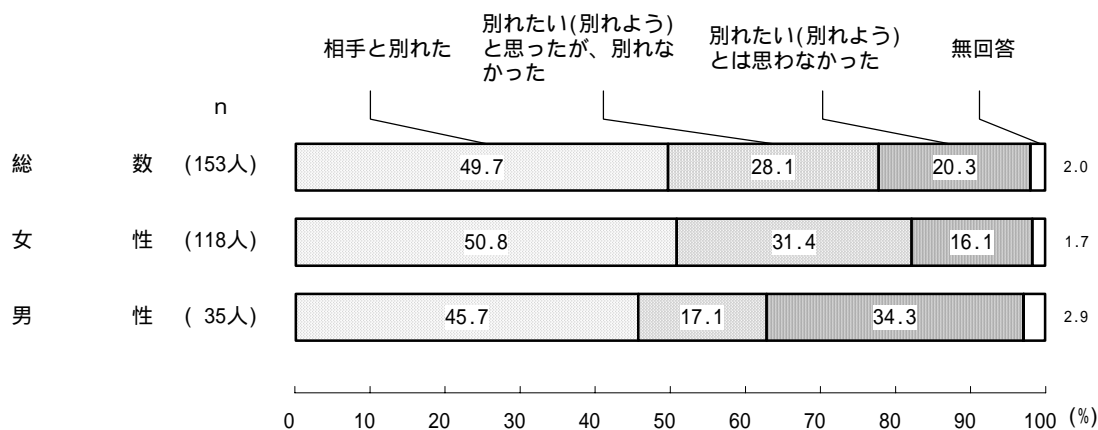
男女別にみると(図4-3-1)女性では「相手と別れた」(50.8%)という人が半数を占め、次いで「別れたいと思ったが、別れなかった」人(31.4%)が多くなっている。一方、該当数は50人に満たないが男性では、「相手と別れた」(16人)に次いで、「別れたいとは思わなかった」(12人)が多くなっている。

【問15でAからCのうち1つでも、「1 10歳代にあった」「2 20歳代にあった」と答えた方にお聞きします。

AからCのすべてが、「3 まったくない」という方は8ページの間20にお進みください。】

問16 あなたは、交際相手からそのような行為を受けたとき、どうしましたか。あてはまる番号1つをつけてください。( は1つ)

図4-3-1 交際相手から被害を受けた後の関係



#### (4) 別れなかった理由

交際相手から何らかの被害を受けたとき、相手と「別れたい(別れよう)と思ったが、別れなかった」人(43人)に別れなかった理由を聞いたところ(表4-4-1)、「相手が別れることに同意しなかったから」という人が43人中14人で最も多く、次いで「相手には自分が必要だと思ったから」と「これ以上は繰り返されないと思ったから」がともに7人、「相手の反応が怖かったから」が4人、「経済的な不安があったから」が3人の順となっている。

【問16で「2 別れたい(別れよう)と思ったが、別れなかった」と回答した方にお聞きします。】  
 問17 あなたが、相手と別れなかった最も大きな理由は何ですか。あてはまる番号1つに をつけてください。( は1つ)

表4-4-1 別れなかった理由

	n	か と 相 手 が 別 れ る こ と に 同 意 し な こ ら	か 必 要 だ と 思 つ た が	思 返 さ れ な い と	か 相 手 の 反 応 が 怖	あ つ た か ら	対 別 周 囲 の 人 か ら 、 反	た 世 間 体 を 気 に し	そ の 他	無 回 答
【 総 数 】	43	14	7	7	4	3	1	-	6	1
女 性	37	13	5	6	4	2	1	-	5	1
男 性	6	1	2	1	-	1	-	-	1	-

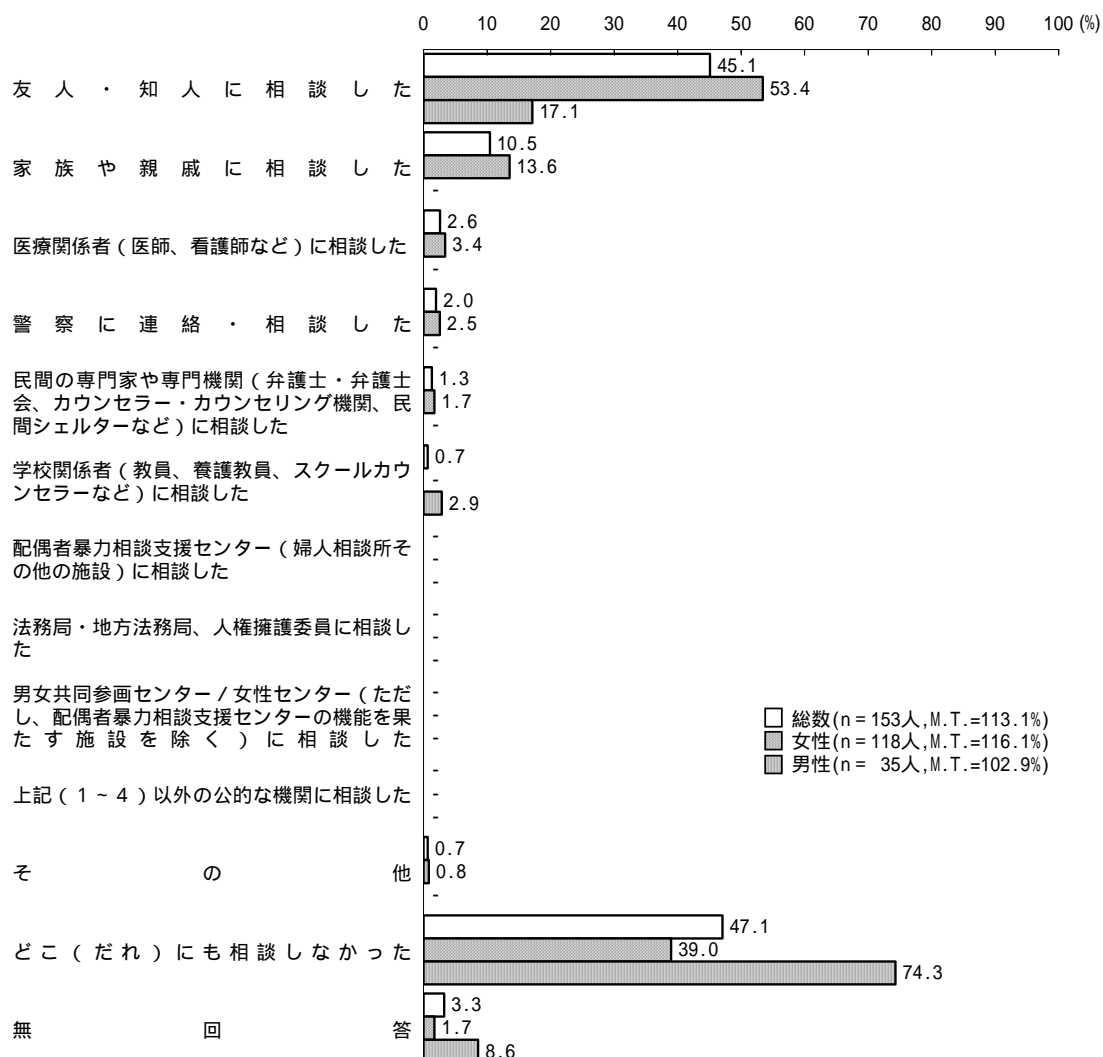
### (5) 交際相手からの被害の相談先

10歳代から20歳代の結婚前に、交際相手から被害を受けたことがある人(153人)に、受けた行為についての相談先を聞いたところ(図4-5-1)、「友人・知人に相談した」が45.1%で、最も多くあげられ、次いで「家族や親戚に相談した」が10.5%となっているほかは、いずれも1~3%程度である。「どこ(だれ)にも相談しなかった」(47.1%)という人は、半数近くになっている。

男女別にみると(図4-5-1) 交際相手からの被害を受けた女性の過半数は、「友人・知人に相談した」(53.4%)と答えている。「どこ(だれ)にも相談しなかった」という女性は39.0%で、ほぼ6割の女性は交際相手からの被害について相談している。

【交際相手から、問15のAからCの行為を受けたことがある方すべてにお聞きします。】  
 問18 あなたは、10歳代、20歳代に交際相手から受けたそのような行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまる番号すべてに をつけてください。( はいくつでも)

図4-5-1 交際相手からの被害の相談先



(6) 相談しなかった理由

10歳代から20歳代の結婚前の交際相手からの被害について、どこ(だれ)にも相談しなかった人(72人)が、相談しなかった理由としては(表4-6-1)「相談するほどのことではないと思ったから」が45.8%で最も多くあげられ、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」(34.7%)が3割強となっている。

【問18で「12 どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた方にお聞きします。】  
 問19 どこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。あてはまる番号すべてに をつけてください。(はいくつでも)

表4-6-1 相談しなかった理由

(人)

	n	相談するほどのことではないと思ったから	自分にも悪いところがあると思ったから	自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	相手の行為は愛情の表現だと思ったから	相談してもむだだと思ったから	そのことについて思い出しなくなかったから	どこ(だれ)に相談してよいのかわからなかったから	他人を巻き込みたくなかったから	恥ずかしくてだれにも言えなかったから	世間体が悪いから	相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	他人に知られると、これまで通りのつき合い(仕事や学校などの人間関係)ができなくなると思ったから	加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	その他	無回答	回答計
【総数】	72	33	25	14	13	12	9	8	8	6	3	2	2	2	-	4	2	143
女性	46	17	13	6	9	5	6	6	3	4	2	2	2	2	-	3	1	81
男性	26	16	12	8	4	7	3	2	5	2	1	-	-	-	-	1	1	62